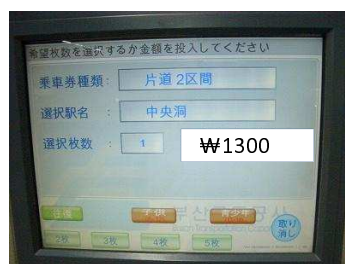


**釜山市地下鉄に  
載せて移動する！**

**週末(土・日・祝日)は釜山市地下鉄に自転車を載せて  
目的地までの移動は安心・楽々！**

2012年7月から、週末ならば釜山地下鉄に原形のまま自転車を持ち込むことができるようになりました。ここでいう祝日とは韓国の祝日(毎年少し変更になります)を指しますので、注意が必要です。



乗車券の購入は自動販売機で【日本語】を押すと表示が日本語になります。行先・距離により【1区間＝₩1,300(約130円)】、【2区間＝₩1,500(約150円)】になっており、日本の市内交通より安価に利用ができます。日本との違いは先に行先ボタンを押してお金を入れる点です。高額紙幣を受け付けてくれないので場合により有人販売所を利用することになります。外国人対応のために案内人が立ち会ってくれていることがあり親切。(なお、自転車の代金は無料です)



改札口は幅の広いゲートを探しましょう。駅によっては幅広改札が未設置のところもあり、駅事務室に行きゲートを開けてもらう必要があるのですが、時間に余裕をもって動けるようにしたいですね。改札内のエレベーターは急ピッチに新設工事が進められています。エレベーターが未設置である場合のエスカレーターの利用は危ないので、階段を利用することを予め考慮しておきましょう。コンコース内では自転車を降りて押してください。



地下鉄の駅のマークを見つけたら、エレベーターのある場所を探しましょう。

今回特に気になったのは、改札が行先別で分けられていることが多く、反対方面の列車の改札に入った場合の乗り直しは手間がかかります。くれぐれも行先・進行方向の確認を忘れないようにしてください。



**実際に地下鉄に  
載せてみました**

自転車を搭載できる車両は最後方の車両のみとなっています。大人数で動く場合は日中は5～10分間隔で運行されているので**分乗**するようにしましょう。

一般の方に迷惑をかけること、マナーを守るように心がけたいですね。

**都市間バスに自転車を載せて移動する。 高速バスターミナル・市外バスターミナルをチェック！**

実は韓国は高速バスネットワークが充実しています。釜山市内には方面別に西部バスターミナルと総合バスターミナルの2か所のバスターミナルがあります。都市間バスはラゲージスペースに余裕がある場合、自転車を原形のまま運ぶことができます。ただしバス一台あたりに搭載できる台数に限りがありますのでご注意ください。

路線網や時刻表は日本語で紹介されている方のホームページ等を確認するか、韓国現地の公式情報を確認するようにしましょう。主要都市間のバスネットワークは本数も多くなっていますが、地方へのアクセスや多客期には余裕を持ったスケジュールを組まれることをおすすめします。日本と違う点は大都市では渋滞が発生する都市中心部には都市間バスは乗り入れせず、郊外に巨大なバスターミナルが設けられているという点です。

バスターミナル内の乗車券売り場の電光掲示板はハングルとアルファベットを併記しておりわかりやすくなっています。軽食・土産を販売していたり、清潔なトイレも近年整備が進んでいます。



↑昌原から釜山沙上(西部バスターミナル)までのチケット距離は42km₩3,700(約270円)所要時間は1時間程度でした。座席は指定されておらず、13, 14番プラットフォームから発車と記載されており便数が多い区間は気軽に乗車が可能。(2012年7月調査)



ラゲージスペースへ自転車の搭載時は指づめに気を付けるようにしましょう。

# 注意事項

## 韓国自転車事情 マウンテンバイクからロードバイクへ！ 現地の交通ルールに則した安全運転を心がけましょう！



右折する車に注意！



緑色は歩行者専用です

国家プロジェクトとしての「グリーン成長戦略」の影響で自転車ブームが到来！

今、韓国では空前のマウンテンバイクブームの後、ロードバイクブームが起こっています。しかし、日本から愛用自転車を持ち込まれる場合、日頃の日本でのサイクリング以上に用意周到にパンクの修理道具・スペアチューブ等を必ずご準備される他、特にタイヤの希望在庫が必ずしも入手できない可能性を想定し、ご旅行出発前にタイヤを新しいものに履き替えておくことをお勧めします。

韓国の交通ルールは日本と異なり**自動車は右側通行**です。自転車道路の他、韓国旅行中は一般道进行するケースが発生します。その際①自動車は右側通行であること、②交差点で自動車は赤信号でも右折が常にできるケースがほとんどであるという点に十分注意をしましょう。現地の交通ルールに則した走行を心がけてください。

また、自転車の通行できない緑色の【歩行者専用道路】を自転車で通行することは禁止されています。



サムチョンリ自転車国際市場店でタイヤを交換してみました。

サムチョンリ河口堰店

韓国国内では写真中央のような「サムチョンリ自転車」という韓国の代表的な自転車メーカーの販売店をよく目にします。2012年当時はここでロードサイクルのタイヤを交換しましたが、ロード用の在庫はなんと1本しかありませんでした。よく看板を見ると【MTB専門店】という文字も小さく書かれており、数年前までは主流派はマウンテンバイクでありました。本格的に釜山の山岳路を週末に自転車で走ろうという重装備なMTB集団もシーズン中には多数見かけることから、現地での楽しみ方はいろいろと充実しているようにも思えます。



洛東江自転車道路の整備は途中休憩場所(場合によりトイレも併設されている)に自動販売機は日本のように設置されていません。

飲み物の確保には自転車道路から外れて町中へ移動する必要があります。途中より人口の少ない地域を走る日には、あらかじめコンビニなどでスポーツドリンクなどの確保を忘れないようにしましょう。

また、写真右のように、途中工事のために【臨時自転車道路】が看板告知されている箇所がある場合、案内に沿って迂回をするようにしてください。その際は一般道路の路肩が【臨時自転車道】となっていました。通行にはくれぐれもご注意ください。



海外旅行保険は海外でケガ・病気、予期せぬ事態を補償する保険です。万一のアクシデントに備え、安心して旅行ができるよう必ず加入して渡航されることをお勧めします。(近年ではインターネットからWEBで加入することもできます)